

文 教 委 員 会 会 議 録

1 開会年月日

令和7年12月1日（月）

2 開会場所

第一委員会室

3 出席委員（8名）

委員長	上 田	ゆきこ
副委員長	ほかり	吉 紀
理 事	高 山	かずひろ
理 事	石 沢	のりゆき
理 事	山 田	ひろこ
理 事	小 林	れい子
理 事	岡 崎	義 顕
委 員	関 川	けさ子

4 欠席議員

な し

5 委員外議員

議 長	市 村	やすとし
副 議 長	高 山	泰 三

6 出席説明員

成 澤 廣 修	区長
佐 藤 正 子	副区長
加 藤 裕 一	副区長
丹 羽 恵玲奈	教育長
新 名 幸 男	企画政策部長
竹 田 弘 一	総務部長
吉 田 雄 大	教育推進部長
川 崎 慎一郎	企画課長
菊 池 日 彦	政策研究担当課長

進	憲 司	財政課長
横	山 尚 人	広報戦略課長
畑	中 貴 史	総務課長
中	川 景 司	職員課長
熱	田 直 道	教育総務課長
山	岸 健	教育指導課長

7 事務局職員

事務局長	佐久間 康 一
議事調査主査	小松崎 哲 生
議事調査担当	眞 鍋 由起子

8 本日の付議事件

(1) 付託議案審査

- 1) 議案第57号 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

午後 5時20分 開会

○上田委員長 それでは、文教委員会を開会します。

委員等の出席状況ですが、委員は全員出席です。

理事者につきましては、関係理事者の出席をお願いしています。

なお、議案第57号に関連する理事者として、中川職員課長に御出席いただいております。

○上田委員長 理事会についてですが、必要に応じて、協議して開催したいと思います。よろしいでしょうか。

（「はい」と言う人あり）

○上田委員長 本日の委員会運営について、付託議案審査1件、その他、本会議での委員会報告について、委員会記録について、閉会、以上の運びにより、本日の委員会を運営したいと思います。よろしいでしょうか。

（「はい」と言う人あり）

○上田委員長 各委員及び理事者の皆様には、質問・答弁など簡潔明瞭に行い、本委員会が円滑に運営されるよう御協力をお願いいたします。

○上田委員長 それでは、付託議案審査1件に入ります。

議案第57号、幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。

それでは、提案理由の説明をお願いいたします。

吉田教育推進部長。

○吉田教育推進部長 ただいま議題とされました、議案第57号、幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

本案は、特別区人事委員会の給与に関する勧告に基づき、規定を整備するものでございます。

主な改正内容につきましては、資料第1号により御説明いたします。

まず、第1条関係は、公民較差解消のため、月例給と特別給の改正を行うものでございます。

別表第1に定める給料表の改正は、給料月額を勧告どおり引き上げるものでございます。

第27条の改正は、令和7年12月における期末手当の支給月数を0.025月引き上げるものでございます。

第30条の改正は、令和7年12月における勤勉手当の支給月数を0.025月引き上げるものでございます。

第31条の改正は、教育公務員特例法等の改正に伴い、義務教育等教員特別手当の月額について、規則で定める校務の種類を考慮する旨を定めるものでございます。

次に、第2条関係は、令和8年度以降の特別給の改正を行うものでございます。

第1条で改正した期末手当及び勤勉手当の支給月数の引上げについて、6月及び12月の支給月数が均等となるよう規定を整備するものでございます。

最後に、附則でございます。

本条例の施行期日は、第1条関係については公布の日でございます。ただし、第31条の義務教育等教員特別手当に関する改正規定は、令和8年1月1日でございます。

第2条関係については、令和8年4月1日でございます。

なお、第1条の給料表の改正については、令和7年4月1日に遡って適用いたします。

また、その他の附則については、改正前に支給された給与は、改正後の規定による給与の内払いとみなす旨などを定めるものでございます。

以上、よろしく御審議の上、原案のとおり御可決くださいますようお願い申し上げます。

○上田委員長 それでは、質疑をお願いいたします。

石沢委員。

○石沢委員 議案第57号ですけれども、先ほど全体の給与の影響額などについては総務区民委員会のほうで確認できたんですけれども、幼稚園教育職員の部分についての影響額もお聞きしておきたいと思います。今年のこの給与の改定によっての影響額、これが幾らになるのかということと、あとそれから、去年の分もちょっと併せてお聞きしたいなというふうに思います。

それから、今年の教員数、これ何人なのか。去年は92というふうに聞いているんですけれども、今年、幾らかということをお伺いしたいと思います。

○上田委員長 中川職員課長。

○中川職員課長 幼稚園教諭の影響額のほうを答弁させていただきますが、今年度が約2,400万円で、昨年度が約2,030万円ということになっております。

○上田委員長 山岸教育指導課長。

○山岸教育指導課長 職員の人数ですが、昨年度が92名、今年度が109名で、17名の増となっております。

○上田委員長 よろしいですか。はい。

ほかに。関川委員、どうぞ。

○関川委員 すみません、座ったまま。先ほど幼稚園教育の人数、109人というふうにおっしゃいましたが、その中には、幼稚園型の子ども認定の職員の方も入っているのでしょうか。

それと、先ほど来、幼稚園職員についても1万4,860円、3.80%のアップするということに議論されておりますけれども、幼稚園職員は、ほかの一般業種と比べたら給与がやっぱり全体的には低いということになっておりますけれども、国家資格を持つ身分でありながらやっぱり低いというのは、どうなのかなというふうに思いますので、今回、1万4,860円、3.80%の回答というのは、先ほど生計費も入って妥当だという御答弁がありましたけれども、幼稚園職員に関してはどうなのでしょう。

○上田委員長 山岸教育指導課長。

○山岸教育指導課長 先ほどの御質問ですが、幼稚園型ということで、元町のことを示されているのかなというふうに思いますが、元町のほうも含まれて109名という形です。

それから、幼稚園のほうも同様に3.80%というところで、こちらについては、幼稚園が低いというふうには考えてはございません。

○上田委員長 関川委員。

○関川委員 厚労省の調査では、東京都の全業種の最低時給が1,113円に対して、幼稚園教諭の全国平均時給が1,106円となっているということなのですが、幼稚園教諭は、幼児を預かる責任と相当な労力が必要な、国家資格を持つ身分であるということも鑑みると、やはりこの答申はちょっと低いんじゃないかなというふうに考えますけど、いかがなんでしょうか。

○上田委員長 中川職員課長。

○中川職員課長 幼稚園教諭については、我々行政職とはまた違う給料表を適用されているところでございますので、その給料表の中で、きちんと今回の増分というところは反映されるものなので、特に幼稚園教諭だけ低いとかいうことには当たらないかというふうに考えてございます。

○上田委員長 関川委員。

○関川委員 幼稚園教員については、今まで処遇改善とかということもありませんでしたので、今回の答申というのは、やはりもう少し上乘せして答申をするべきじゃないかなというふうに思いますけど、すみません、お願いします。

○上田委員長 中川職員課長。

○中川職員課長 繰り返しになりますけれども、これまでも人事委員会の勧告に基づきという形で、幼稚園教諭も区職員でございますので、その中できちんと23区で整理をしているような状況でございますので、今回の取扱いについても妥当なものであるというふうに考えてございます。

○上田委員長 関川委員、よろしいですか。

○関川委員 はい。

○上田委員長 小林委員。

○小林委員 2つほど確認させてください。

令和4年12月の文教委員会で、今回同様の議案の審議において、海津委員が、こども園での幼稚園教諭と保育士の同一労働で同一賃金ではない課題について質問しておりまして、当時の新名教育総務課長より、柳町こどもの森において、幼稚園教諭と保育士が同じ職場で働いており、同一労働同一賃金が課題になっているが、今後の認定こども園化の検討の中で課題を解消していく、令和7年4月の湯島幼稚園の認定こども園化に間に合うよう庁内でしっかり検討し、議会報告させていただくとの答弁でした。

事前に伺ったところ、この課題について区は、保育士の給料を上げて、同一労働同一賃金

にしたわけではなく、保育士の採用をやめ、幼稚園教諭のみを採用し、幼稚園教諭が保育研修を受けて、1歳から5歳までを扱う幼稚園型こども園にすることで解消しているとのことでした。

文京区では、文京区版幼児教育・保育カリキュラムを作っており、幼稚園も保育園もひとしく質の高い幼児教育・保育を提供することになっているので、本来ならば、こども園だけではなく、区立保育園の保育士と区立幼稚園の教諭は同一賃金であるべきだと思いますが、もともと差があった幼稚園教諭と保育士の間の処遇格差が広がっているのではないかと、現状はいかがかということをもとに1点伺います。

また、過去の議論の中で、幼稚園型こども園であっても、ゼロ歳児の受入れは可能ということでしたけれども、育休延長が取りにくくなっている昨今、ゼロ歳児からの受入れのニーズは増えていると思います。例えばこれから予定される小日向台町幼稚園の認定こども園化の際に、ゼロ歳児も受け入れてはどうかと思いますけれども、いかがでしょうかという2つ、お願いします。

○上田委員長 中川職員課長。

○中川職員課長 個々の職員の差がありますので、幼稚園教諭と保育士の給与の差が広がっているかどうかというのは、ちょっと一概には言えないかなと思っております。ただ、保育士にしても幼稚園教諭にしても、今回、処遇という形でいえば、この勧告に伴って改善されるというような状況でございますので、その中で、今は保育園と、あるいは幼稚園だったり幼稚園型認定こども園ということで、実際勤務する場所であったり、職務というところも、カリキュラムのことはありますけれども、全く同じということではございませんので、一定の差が生じているというような理解でございます。

○上田委員長 熱田教育総務課長。

○熱田教育総務課長 認定こども園での、小日向台町幼稚園でのゼロ歳児の受入れですけれども、ゼロ歳児はやはり必要なスペースというのが非常に多くなってきております。そうしたスペースの問題ですとか、あとは、近隣で今、実際ゼロ歳児を請け負っているのは私立の保育施設が請け負っていると。そしてまた、今、ゼロ歳児の待機児童の状況も踏まえると、現時点では、小日向台町幼稚園の認定こども園化で、ゼロ歳児を行うということは考えておりません。

○上田委員長 小林委員。

○小林委員 分かりました。先ほど御答弁いただいたとおり、やっぱり幼稚園の教諭と保育士

さんというのは一定の差があるということなんですけれども、引き続き、幼稚園教諭と保育士の同一労働同一賃金のための処遇改善は、同じようにこれからも努力していただきたいなということと、認定こども園のゼロ歳児受入れニーズは、ちょっといろいろな条件があることは分かりましたけれども、将来的に応えていただきたいということを要望したいと思います。

そして、文京区の方針として、幼稚園の一定のそういう希望があるという、ニーズがあるということはよく承知していますし、新しくできる認定こども園は、どこもすごく設備が整っていて、人気が出るんですけれども、やはり従来の幼稚園そのものへの応募人数が減っている中、周辺の私立幼稚園や私立認可保育園との兼ね合いもあるので、こども園の在り方も一定整理が必要ではないかということも意見として申し上げておきたいと思います。

○上田委員長 よろしいですね。

それでは、議案第57号の各会派の態度表明をお願いします。

自由民主党さん。

○山田委員 議案第57号ですけれども、幼児教育という非常に専門性の高い現場での人材確保ということでは、この給与の引上げは妥当だというふうに思いますので、賛成です。

一言付させていただきたいんですけれども、人材確保という面では、この給与だけではなくて、様々な処遇改善というものも伴うわけで、これを教育現場の実情を踏まえて、適時適切にこれからも進めていただきたい。そのためには、やはり文京区の健全なというのは当たり前ですけれども、持続可能な財政運営というのもしっかりやっていただきたいと。その思いを込めまして、賛成とさせていただきます。

○上田委員長 公明党さん。

○岡崎委員 議案第57号、特別区人事委員会の勧告に伴うものでもございますし、また、今、民間企業も賃金アップが続いている中で、やはり幼稚園の職員の人材の確保、先ほどありましたけれども、人材の確保という観点からも、やはり公民較差の解消を図る必要があると思いますので、議案第57号、公明党、賛成でございます。

○上田委員長 文京維新さん。

○高山（か）委員 維新の会は、結党以来、身を切る改革を掲げて、国と地方議員の報酬削減を続けております。

なお、特別職の給与改定については、特別区人事委員会の勧告自体に疑問があると考えておりますが、幼稚園職員の方々については、働き方改革である処遇の改善に伴う人員不足の

改善や、キャリアアップにつながる処遇改善など、子どもの保育の質の向上に向け、行政が積極的に取り組むべき姿勢が必要であるとも考えておりますので、維新の会、57号、賛成いたします。

○上田委員長 区民が主役さん。

○小林委員 区民が主役の会は、先ほど質問した際に述べた意見を付しまして、議案第57号につきましては、物価高騰の中、幼稚園教育職員の給与を上げ、処遇改善を行うものでありますので、賛成いたします。

○上田委員長 日本共産党さん。

○関川委員 日本共産党は、議案第57号、賛成いたします。

それで、これでよしとしないで、処遇改善の問題等々、さらに賃金アップになるような改定を要望いたしまして、57号、賛成いたします。

○上田委員長 市民さん。

○ほかり副委員長 市民フォーラム、議案第57号、賛成いたします。

○上田委員長 審査結果を申し上げます。

賛成7、反対ゼロ、よって原案を可決すべきものと決定いたします。

○上田委員長 本会議での委員会報告について。

文案の作成については、委員長に御一任願いたいのですが、よろしいでしょうか。

（「はい」と言う人あり）

○上田委員長 以上で、文教委員会を閉会いたします。

午後 5時37分 閉会